

YAMAHA

無線LANアクセスポイント W LX222

はじめにお読みください（保証書付）

ヤマハ製品をお買い上げいただきありがとうございます。はじめに「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置、設定を行ってください。本書はなくさないように、大切に保管してください。

付属品

- はじめにお読みください(本書、保証書含む) : 1部
- マウントパネル : 1枚
- スタンド(ネジ1本含む) : 1本

別売品

PoEスイッチ/PoEインジェクター /電源アダプターなどのオプション(別売品)については、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://network.yamaha.com/

本書の記載について

- 本書では、製品の名称および会社名について、以下のように略称で記載しています。ヤマハ無線LANアクセスポイント W LX222 : 本製品
- 本書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標あるいは商標です。
- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本製品やWeb GUIの仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。

マニュアルのご案内

本製品の取り扱いシーンに適したマニュアルをお読みください。

- はじめにお読みください(本書)** 本製品をお使いになるうえでの注意事項、各部の名称、ハードウェア仕様、サポート窓口が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

- ユーザーガイド(ウェブサイト)** 製品概要と、本製品や別売品の設置方法、接続方法、設定方法など、設定を開始するまでの手順が記載されています。

- 技術資料(ウェブサイト)** 本製品の基本機能の詳細仕様やWeb GUIの操作方法が記載されています。

- コマンドリファレンス(ウェブサイト)** 本製品のコマンドの使い方や設定するための書式、説明、使用例が記載されています。

- Web GUIのヘルプ(本製品のWeb GUI)** 各設定項目の詳細説明が記載されています。

上記のマニュアルの最新版は以下のウェブサイトに掲載しています。
http://www.rtpo.yamaha.co.jp/RT/manual.html

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項をよくお読みになり、必ず守っておください。本書に示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

- 本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
- 本製品を誤って使用した結果により発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。あらかじめご了承ください。

「警告」と「注意」について

本書では、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠警告
「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意
「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

記号表示について

本書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠	注意喚起を示す記号	🚫	禁止を示す記号	!	行為を指示する記号
----------------	-----------	----------------	---------	----------------	-----------

⚠警告

異常に気づいたら

!	次のような異常が発生した場合、すぐに電源を遮断する。 <ul style="list-style-type: none">電源コード／プラグが傷んだ場合 機器から異臭、異音や煙が出た場合	<ul style="list-style-type: none">機器の内部に異物や水が入った場合 機器に亀裂、破損がある場合
	電源を遮断するための操作は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">電源アダプターをコンセントから抜く そのまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因になります。至急、点検や修理をご依頼ください。	<ul style="list-style-type: none">LANケーブルを抜く(PoE給電)

🚫	電源コードが破損するようなことをしない。 <ul style="list-style-type: none">ストーブなどの熱器具に近づけない 無理に曲げたり、加工したりしない 傷つけない 重いものを乗せない ステーブルで留めない 芯線がむき出しのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
🚫	雷が鳴りはじめたら、本製品や電源プラグやコードに触らない。感電の原因になります。
!	電源アダプターを使用する場合は、必ず別売のYPS-12HTを使用する。火災や感電、故障の原因になります。
!	電源アダプターは、必ず日本国内AC100 V (50/60 Hz)の電源電圧で使用する。火災や感電、故障の原因になります。
!	電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。火災・感電の原因になります。
!	電源プラグは根元まで確実に差し込む。感電やショートによる火災・故障の原因になります。
!	電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万ーの場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。
!	長期間使用しないときは、必ず電源を遮断する。 <ul style="list-style-type: none">コンセントから電源アダプターを抜く PoE受電している場合はLANケーブルを抜く 火災・故障の原因になります。

🚫	医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。本製品が発生させる電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
🚫	心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15 cm以内で使用しない。本製品が発生させる電波によりペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

!	本製品とPoE給電機器の接続には、IEEE802.3af規格に対応したLANケーブルを使用する。規格に適合していないケーブルや、フラットタイプまたはスリムタイプのケーブルを接続すると、火災・故障の原因になります。
🚫	PoE給電中のLANケーブルを大量に束ねない。束ねた部分の温度が上昇し、火災・故障・動作不良の原因になります。ケーブルの温度定格を超えないように、束ねる本数を制限してください。

🚫	本製品を分解したり改造したりしない。火災・感電・けが・故障の原因になります。
----------------	--

🚫	水などの液体がかかるような場所で使用しない。 <ul style="list-style-type: none">浴室や雨天時の屋外など水がかかるところ、湿気の多いところ 花瓶や薬品など、液体の入ったものが周辺にあるところ 内部に水などの液体が入ると、火災・感電・故障の原因になります。
🚫	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手で本製品を扱わない。感電・故障の原因になります。

🚫	本製品の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。
🚫	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。火災・感電・故障の原因になります。

⚠注意

🚫	電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。火災・感電、やけどの原因になります。
!	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。

🚫	不安定な場所や振動する場所に置かない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。
🚫	本製品を設置する際は、放熱を妨げない。 <ul style="list-style-type: none">布やテーブルクロスをかけない じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない 風通しの悪い狭いところへは押し込まない 機器内部に熱がこもり、火災・故障・誤動作の原因になります。
!	「ユーザーガイド」(ウェブサイト)で指示された方法で設置する。放熱が不十分な場合製品内部に熱がこもり、火災・故障・誤動作の原因になります。また落下、転倒により、けが・故障・破損の原因になります。

🚫	本製品を他の機種と重ねて置かない。火災・やけどの原因になります。
🚫	塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。
!	本製品を移動する前に、必ずすべての接続ケーブルを外す。ケーブルに足や手を引っかけると、落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。
!	壁や天井に取り付ける時は、必ず専門知識を持った人が取り付ける。必要に応じて、お買い上げの販売店や専門の施工会社に依頼してください。不適切な取り付け方は、けが・故障・破損の原因になります。
!	マウントパネルの取り付けの際には、必ず壁や天井の材質に適応したネジを使用する。落下によるけがや故障の原因になります。
🚫	マウントパネルへの本製品の取り付け、取り外しの際に、本製品を落下させない。落下によるけがや故障の原因になります。
🚫	電源アダプターは天井面には取り付けけない。落下によるけがや故障の原因になります。

!	外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。説明に従って正しく取り扱わない場合、けがや故障の原因になります。
----------------	---

!	お手入れをする前に、必ず電源を遮断する。 <ul style="list-style-type: none">コンセントから電源アダプターを抜く PoE受電している場合はLANケーブルを抜く 感電の原因になります。
----------------	--

🚫	本製品のすき間に手や指を入れない。けがの原因になります。
🚫	本製品のすき間に金属や紙片などの異物を入れない。火災・感電・故障の原因になります。
🚫	小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。
🚫	次のような、無理な力がかかることをしない。 <ul style="list-style-type: none">本製品の上に重いものを乗せる 本製品を重ねて置く ボタンや入出力端子などに無理な力を加える けが・感電・故障・破損の原因になります。
🚫	接続されたケーブルを引っ張らない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの消失を防ぐため、お守りいただく内容です。

- 設置**
- ポート内部を指や金属で触れないでください。故障の原因になります。
 - 周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。その場合は、本製品の設置場所、向きや周囲の環境を変えてください。
 - 次のような場所に設置しないでください。
 - 直射日光の当たる場所
 - 極端に温度が高い場所や低い場所
 - ほこりが多い場所
故障・変形・動作不良の原因になります。
 - 周囲温度が極端に変化するなど、結露が発生しそうな場所には設置しないでください。結露した状態で使用すると故障の原因になります。結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
 - 本製品を強い電磁波がある場所に設置しないでください。動作不良の原因になります。
 - LANケーブルを電源コードなどに近づけて配線しないでください。大きな電圧が誘起され、動作不良の原因になります。
 - 本体ケースと接触して、コネクター部分に無理な力が加わる形状のLANケーブルは使用しないでください。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによっては本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

- 接続**
- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)には直接接続しないでください。
 - 本製品を接続している電源ラインにノイズを発生する機器を接続しないでください。故障・動作不良の原因になります。
 - 100BASE-T/2.5GBASE-Tでご使用になる場合は、エンハンسدカテゴリー 5(CAT5e)以上のLANケーブルを使用してください。ただし、2.5GBASE-Tでご使用になる場合は、隣接したケーブルや外部からのノイズの影響により最大伝送距離が規格値より短くなる場合があります。詳細については「ユーザーガイド」(ウェブサイト)をご確認ください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定が不十分な場合、以下のような危険性が発生する可能性があります。

◎通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者に電波を故意に傍受され、

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

◎不正に侵入される
悪意ある第三者に無断で個人や会社内のネットワークにアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティーに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記危険性が発生する可能性を低くできます。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の危険性を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

取り扱い

- 本製品の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。パネルの变色・変質の原因になります。
- 本製品に触れるときは、身体や衣服から静電気を除去してください。静電気によって故障するおそれがあります。
- ポートやスロットの内部を指や金属で触れないでください。故障・接触不良の原因になります。

お手入れ

- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かないでください。变色・変質の原因になります。

譲渡／廃棄について

- 本製品を譲渡する際は、本書も合わせて譲渡してください。
- 本製品を譲渡/廃棄する場合は、設定内容を初期化してください。詳しくは、「ユーザーガイド」(ウェブサイト)の「本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す」をご覧ください。

重要なお知らせ

電波に関するご注意
本製品は、日本の電波法に基づく技術基準に適合しています。海外における同様の法規には対応しておりません。

無線LAN (2.4 GHz帯)の使用について
2.4 GHz帯は、以下の機器や無線局も使用します。

- 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局 構内無線局 (免許を要する無線局) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
- アマチュア無線局 (免許を要する無線局)

- これらの無線局との干渉を避けるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで2.4 GHz帯を使用する無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに使用周波数や場所を変更したり電波の発射を停止したりするなどして電波干渉を避けてください。
 - 40 MHzシステムの使用設定をONにする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに40 MHzシステムの使用設定をOFFにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局やアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生したなど、何かお困りの場合には、ヤマハルーターお客様ご相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4	
使用周波数帯域	2.4 GHz帯
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式
想定干渉距離	40 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

ここでの想定干渉距離は、本製品から移動体識別用構内無線局への電波干渉が想定される距離です。

無線LAN (5 GHz帯)の使用について
5.2 GHz帯(W52)と5.3 GHz帯(W53)は、電波法により屋内での使用に限られています。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 <p style="text-align: right;">VCCI-A</p>

高調波規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名と製造番号の控え

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある製品ラベルに表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、製造番号を以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

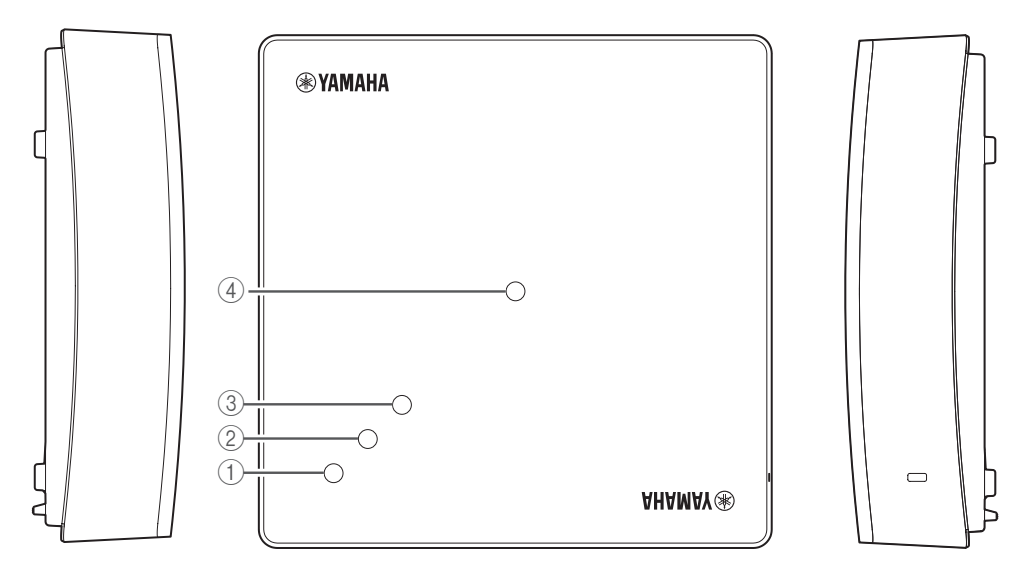
機種名 W LX222
製造番号 (SER.)

本製品で使用しているオープンソースソフトウェア

ライセンス条文については、下記のウェブサイトをご覧ください。
ヤマハネットワーク機器サポート
https://network.yamaha.com/support/

各部の名称と機能

側面／天面



① POWERインジケータ－

本製品の電源状態、動作状態を示します。

② LANインジケータ－

LANの使用状態やインターネットへの接続状態を示します。

③ YNOインジケータ－

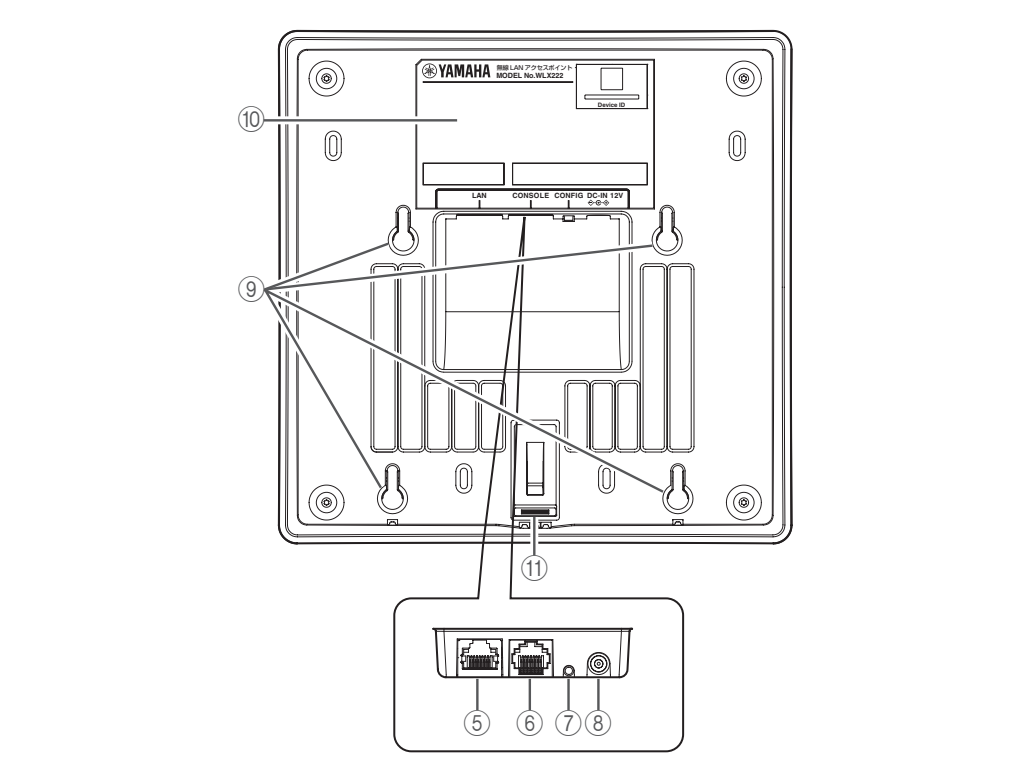
ネットワーク統合管理サービス Yamaha Network Organizer (YNO)の使用状態やYNOマネージャ－との接続状態を示します。

④ WLANインジケータ－

無線LANの使用状態を示します。

インジケータ－の詳細仕様は、「ユーザ－ガイド」(ウェブサイト)または「技術資料」(ウェブサイト)をご覧ください。

底面



⑤ LANポート

パソコンやルータ－、スイッチのLANポートとLANケーブルで接続します。IEEE802.3afに対応したPoE給電機器からの給電に対応しています。

⑥ CONSOLEポート

設定用のRJ-45ポートです。パソコンのRS-232C端子(COMポート)と、RJ-45/DB-9シリアルケーブルで接続します。

⑦ CONFIGスイッチ

本製品を初期化または設定変更するためのスイッチです。詳しくは、「技術資料」(ウェブサイト)をご覧ください。

⑧ DC-IN 12V (電源コネクタ－)

別売の電源アダプタ－ (品番：YPS-12HT)を接続します。

⑨ フック穴

付属のマウントパネルの突起を掛けるための穴です。付属のマウントパネル以外には使用しないでください。

⑩ 製品ラベル

本製品の機器名、製造番号、MACアドレス、Yamaha Network Organizer (YNO)利用時に必要なDevice IDなどを記載しています。

⑪ マウントパネルロック解除ボタン

マウントパネルから本体を取り外すときは、このボタンを押してロックを解除します。

ハードウェア仕様

■ 基本		
	項目	内容
外形寸法 (幅x高さx奥行き)	本体	190 mm x 190 mm x 51.7 mm (突起物を含まず)
	マウントパネル	122 mm x 131 mm x 15 mm (突起物を含む)
	スタンド	直径10 mm、長さ58 mm
質量	本体	880 g
	マウントパネル	110 g
	スタンド	15 g
電源電圧/周波数	電源アダプタ－	品番：YPS-12HT (別売品) 定格入力：AC100 V 50/60 Hz 定格出力：DC12 V 2 A 極性： ⊕ ⊖ ⊕
	PoE給電機器	DC36 ~ 57 V (IEEE802.3af準拠)
最大消費電力		10.8 W
MACアドレス		底面の製品ラベルに表示
電圧障害規格		VCCI クラス A
動作環境条件	周囲温度	0 ~ 50 ℃
	周囲湿度	15 ~ 80 % (結露しないこと)
保管環境条件	周囲温度	- 20 ~ 60 ℃
	周囲湿度	10 ~ 90 % (結露しないこと)
インジケータ－ (天面)		POWER、LAN、YNO、WLAN
本体のIPアドレスの初期値		DHCP自動取得 (DHCPによりIPアドレスが取得できない場合は、[192.168.100.240/24]を使用)
仮想コントローラ－のIPアドレスの初期値		DHCP自動取得 (DHCPによりIPアドレスが取得できない場合は、[192.168.100.241/24]を使用)

■ インターフェース		
	項目	内容
	規格	IEEE802.11b/g/n、ARIB STD-T66 準拠 IEEE802.11ax
	伝送方式	IEEE802.11b：直接スペクトラム拡散 (DS-SS) 方式 IEEE802.11g/n：直交周波数分割多重 (OFDM) 方式 IEEE802.11ax：直交周波数分割多元接続 (OFDMA) 方式
	周波数範囲	2,400 ~ 2,483.5 MHz (1 ~ 13ch)
	通信速度 (理論値)	IEEE802.11b：11 Mbps IEEE802.11g：54 Mbps IEEE802.11n：400 Mbps IEEE802.11ax：574 Mbps

無線LANインターフェース (5 GHz)		
	項目	内容
	規格	IEEE802.11a/n/ac、ARIB STD-T71 準拠 IEEE802.11ax
	伝送方式	IEEE802.11a/n/ac：直交周波数分割多重 (OFDM) 方式 IEEE802.11ax：直交周波数分割多元接続 (OFDMA) 方式
	周波数範囲	W52：5.2 GHz帯 (5,150 ~ 5,250 MHz) 36ch、40ch、44ch、48ch W53：5.3 GHz帯 (5,250 ~ 5,350 MHz) ※ 52ch、56ch、60ch、64ch W56：5.6 GHz帯 (5,470 ~ 5,730 MHz) ※ 100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、 120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、 140ch、144ch
	通信速度 (理論値)	IEEE802.11a：54 Mbps IEEE802.11n：400 Mbps IEEE802.11ac：867 Mbps IEEE802.11ax：1,201 Mbps

※ W53 (5.3 GHz帯)とW56 (5.6 GHz帯)は気象レーダ－などへの干渉を防ぐためDFS (Dynamic Frequency Selection) 機能により使用チャンネルが変更されることがあります。

無線LAN共通		
	項目	内容
	アクセス方式	インフラストラクチャモード、WDS
	アンテナ	2.4 GHz/5 GHz 共用 無指向性アンテナ 2本 2.4 GHz/5 GHz 共用 指向性アンテナ 2本 合計4本を本体に内蔵
	暗号化方式	GCMP (AES)、CCMP (AES)、TKIP (RC4)、WEP (RC4)
	セキュリティー方式	Open、Enhanced Open、PSK、WPA/WPA2/WPA3

有線LANインターフェース		
	項目	内容
	規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3bz (2.5GBASE-T)

	項目	内容
	通信モード	オートネゴシエーション
	コネクタ－	RJ-45
	極性	ストレート/クロス自動判別

シリアルインターフェース (CONSOLEポート)		
	項目	内容
	規格	RS-232C
	コネクタ－	RJ-45
	データ転送速度	9,600 bit/s (固定)
	キャラクタ－ビット長	8
	パリティ－チェック	なし
	ストップビット長	1
	フロー制御	Xon/Xoff

ソフトウェアライセンス契約について

本製品は、ファームウェアをリビジョンアップできます。ファームウェアのリビジョンアップ操作は、ソフトウェアライセンス契約 (以下「本契約」) に同意したとみなされます。ファームウェアをリビジョンアップする前に、必ず本契約をお読みください。本契約の内容に同意していただけない場合は、ファームウェアのリビジョンアップを行わないでください。過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本ソフトウェアに起因するお客様側の損害について、法令上免責が認められない場合を除き、一切責任を負いません。

ソフトウェアライセンス契約

本契約は、お客様とヤマハ株式会社 (以下、ヤマハといいます) との間の契約であって、ヤマハネットワーク製品 (以下「本製品」といいます) 用ファームウェアおよびこれに関わるプログラム、印刷物、電子ファイル (以下「本ソフトウェア」といいます) をヤマハがお客様に提供するにあたっての条件を規定するものです。「本ソフトウェア」は、「本製品」または「パーソナルコンピュータ－などのデバイスで動作させる目的においてのみ使用することができます。本契約は、ヤマハがお客様に提供した「本ソフトウェア」および本契約第1条第(1)項の定めに従ってお客様が作成した「本ソフトウェア」の複製物に適用されます。

1. 使用許諾

- お客様は、「本ソフトウェア」をお客様が所有する「本製品」または「パーソナルコンピュータ－などのデバイスにインストールして使用することができます。
- お客様は、本契約に明示的に定められる場合を除き、「本ソフトウェア」を、再使用許諾、販売、頒布、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡し、特定もしくは不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブサイトもしくはサーバ－などにアップロードし、または、複製、翻訳、翻案もしくは他のプログラム言語に書き換えてはなりません。お客様はまた、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバース・エンジニアリングなどとしてはならず、また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
- お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるヤマハの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。
- 本契約に明示的に定める場合を除き、ヤマハは、「本ソフトウェア」に関するヤマハの知的財産権のいかなる権利もお客様に付与または許諾するものではありません。

2. 所有権

「本ソフトウェア」は、著作権法その他の法律により保護され、ヤマハにより所有されています。お客様は、ヤマハが、本契約に基づきまたはその他の手段により「本ソフトウェア」にかかる所有権および知的財産権をお客様に譲渡するものではないことを、ここに同意するものとします。

3. 輸出規制

お客様は、当該国のすべての適用可能な輸出管理法規や規則に従うものとし、また、かかる法規や規則に違反して「本ソフトウェア」の全部または一部を、いかなる国へ直接もしくは間接に輸出もしくは再輸出してはなりません。

4. サポートおよびアップデート

ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」のメンテナンスおよびお客様による「本ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「本ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートを行う義務もありません。

5. 責任の制限

- 「本ソフトウェア」は、「現状のまま (AS-IS)」の状態で使用許諾されます。ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、法令上認められない場合を除き、いかなる保証も、明示したと黙示したとを問わず一切しないものとします。
- ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害 (逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない) について、法令上免責が認められない場合を除き、一切責任を負わないものとします。たとえ、ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。
- ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

6. 有効期間

- 本契約は、本契約第1条第(1)項に定める使用により発効し、本条第(2)項または第(3)項により終了されるまで有効に存続します。
- お客様は、「本製品」または「パーソナルコンピュータ－などのデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。
- お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。
- お客様は、本条第(3)項による本契約の終了後直ちに、「本製品」または「パーソナルコンピュータ－などのデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去するものとします。
- 本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第2条から第6条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

7. 分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

8. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

9. 一般条項

お客様は、本契約が本契約に規定されるすべての事項についての、お客様とヤマハとの間の完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とヤマハとのあらゆるコミュニケーションに優先するものであることに同意するものとします。本契約のいかなる修正も、ヤマハが正当に授權した代表者による署名がなければ効力を有しないものとします。

10. 準拠法

本契約は、日本国の法令に準拠し、これにもとついて解釈されるものとします。

お客様サポートについて

サポートポリシー

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適にご利用いただけますように、また本製品の性能、機能を最大限に活用していただけますようにサポートをご提供します。詳しくは、サポートポリシーをご覧ください。
ヤマハネットワーク機器サポートポリシー
https://network.yamaha.com/support/policy/

お問い合わせの前に

本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかご確認ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様が使用されている本製品の状態を把握するために、弊社の担当者がログ情報 (Syslog) や設定情報 (Config) を確認させていただくことがあります。問題の症状と併せてお知らせいただくことで、問題の解決が早まる場合があります。

サポート窓口のご案内

ヤマハルータ－お客様ご相談センター TEL：03-5651-1330 FAX：053-460-3489
<p>ご相談受付時間 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)</p>
お問い合わせページ ヤマハネットワーク製品サポート https://network.yamaha.com/support/

保証と修理について

保証書

保証書は本書に掲載されています。お買い上げを証明する書類 (レシートなど) とあわせて、大切に保管してください。

保証期間中の修理

保証期間は保証書に記載されています。保証期間中は、本書に記載の保証規定により無料で修理いたします。

保証期間後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。お買い上げの販売店またはサポート窓口までご連絡ください。

ご注意

- 本製品を修理などの理由により輸送される場合は、お客様の責任において、必ず本製品の設定を別の環境に保存してください。
- 修理や検査を依頼された場合、設定を工場出荷時の状態にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

保証書	持込修理
<p>このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本保証書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。</p>	
品名 無線LANアクセスポイント 品番 WLX222 製造番号 (SER.)	
お客様 ご住所 〒	お名前
販売店/住所/電話番号	電話番号 ()
お買い上げ日 年 月 日	保証期間はお買い上げ日から5年時です。
※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒に大切に保管してください。	

ヤマハ株式会社 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1	ヤマハルータ－お客様ご相談センター TEL 03-5651-1330
---	--

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態 (取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態) で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご購入品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、本書に記載されているヤマハサポート窓口にお問い合わせください。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書もしくはお買い上げを証明する書類 (レシートなど) に、お買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、および本保証書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - お客様の ご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
 - ※本保証書は本保証書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますサポート窓口までお問い合わせください。
 - ※お客様にご提示いただいた個人情報 (保証書控え) は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

Manual Development Group

© 2022 Yamaha Corporation

2022年3月発行 IPOD-A0